

第72回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
第66回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

ミキプルーンスーパーカレッジバレー2019

東京大会開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
朝 日 新 聞 社
日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社
株式会社ジェイ・スポーツ
特別協賛 三基商事株式会社
後 援 ス ポ ー ツ 庁 (予定)
東 京 都 (予定)
公益財団法人東京都体育協会 (予定)
公益財団法人東京都バレーボール協会 (予定)

主 管 大 会 実 行 委 員 会

I、大会日程

1、大会期間 2019年11月25日(月)～12月1日(日)

2、会 場
開場時間 11月25日(月) 大田区総合体育館(開会式)

- ① 開会式:15:00～
- ② 開会式には各チーム5名以上参加してください。

3、レフリースポーツクリニック
代表者会議

- ①レフリースポーツクリニック 16:00～
- ② 代表者会議 16:30～
- ③緊急時対応マニュアルについて 17:30～
※代表者会議では、大会に関する説明を行うので各チーム1名必ず出席して下さい。
- ④前売りパンフレット、記念品の受渡しを代表者会議終了後に行います。

4、大会会場

- 11月26日(火) 大田区総合体育館、墨田区総合体育館、港区スポーツセンター、葛飾区水元総合スポーツセンター、中央区立総合スポーツセンター
- 27日(水) 大田区総合体育館、墨田区総合体育館、港区スポーツセンター、葛飾区水元総合スポーツセンター、中央区立総合スポーツセンター、
- 28日(木) 大田区総合体育館【女子メイン会場】
墨田区総合体育館【男子メイン会場】
- 29日(金) 大田区総合体育館【女子メイン会場】
墨田区総合体育館【男子メイン会場】
- 30日(土) 大田区総合体育館【男女メイン会場】
- 12月1日(日) 大田区総合体育館【男女3位決定戦・決勝戦会場】

5、閉会式

日 時 : 12月1日
場 所 : 大田区総合体育館

6、表彰

優勝・準優勝・3位表彰は決勝戦終了後おこなう。

優勝チーム 男子・秩父宮賜杯、女子・秩父宮妃賜杯、
ミキプルーンスーパーカレッジカップ、賞状、ミキプルーン、
ミズノ記念Tシャツ

(公財)日本バレーボール協会杯

(一財)全日本大学バレーボール連盟杯、芳名録、ウイニングボール、

(公財)日本バレーボール協会杯個人盾

(一財)全日本大学バレーボール連盟メダル

準優勝チーム (一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、準優勝盾、記念ボール、個人メダル、
ミキプルーン

第3位チーム (一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、記念ボール、個人メダル
ミキプルーン

個人賞 (公財)日本バレーボール協会 優勝監督賞、
朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社 最優秀選手賞、敢闘選手賞、
ベストスコアラー賞、スパイク賞、ブロック賞、サーブ賞、セッター賞、
レシーブ賞、リベロ賞、
ジェイ・スポーツ MIP賞

II、大会参加資格

1、チーム参加資格

スーパーカレッジバレー2019に参加できるのは、地区学連の割り当てられた数48チームと、東日本インカレ・西日本インカレでベスト8を獲得した学連の割り当て数16チーム合わせて64チームとする。なお下記の条件を満たしていること。

- (1) 2019年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) 2019年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
- (3) JVA個人登録(MRS)の登録者であること。
- (4) 地区学連に割り割り当てられた枠数プラス、東西インカレベスト8に入った地区学連に割り当てられた合計数64
- (5) 各学連の参加枠は以下の通りである。

	男子 (計64チーム)	女子 (計64チーム)
	学連割り当て数	学連割り当て数
北海道学連	4チーム	4チーム
東北学連	5チーム	4チーム
北信越学連	2チーム	3チーム
関東学連	21チーム	18チーム
東海学連	8チーム	5チーム
関西学連	12チーム	15チーム
中国学連	5チーム	5チーム
四国学連	2チーム	2チーム
九州学連	5チーム	8チーム

Ⅲ、競技・審判の注意事項

1、競技規則

2019年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

- ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
- ② スタッフ、選手が遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
 - a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
 - b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
- ③ 連盟に正規に登録のスタッフが男女同一大学の試合のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。但し、男女同一大学の試合時間が重複した場合は男女どちらかのチームにエントリーを行うこと。但し、交代者が登録者であること

2、試合使用球

- (1) 今大会は、男女ともにミカサ製カラーボール（V300M）を使用する。
- (2) トーナメント戦3回戦まで（26日、27日、28日）は、3ボールシステムとし、準々決勝以降（29日、30日、1日）は5ボールシステムで試合を行う。

3、競技方法

全試合5セットマッチとする。

4、競技日程

第1日	11月25日（月）	開会式・代表者会議・レフリースタッフクリニック
第2日	11月26日（火）	トーナメント戦 1回戦
第3日	11月27日（水）	トーナメント戦 2回戦
第4日	11月28日（木）	トーナメント戦 3回戦
第5日	11月29日（金）	トーナメント戦準々決勝
第6日	11月30日（土）	準決勝
第7日	12月 1日（日）	3位決定戦・決勝・表彰式・閉会式

5、施設開場時間

11月25日(月)	チーム受付	14:30
11月26日(火)	チーム受付	09:00
	一般受付	09:15
11月27日(水)	チーム受付	09:00
	一般受付	09:15

6、選手・スタッフ登録

- (1) (公財)日本バレーボール協会、及び(一財)全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
- (2) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名トレーナー1名、マネージャー1名(但し、部長は(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申し受付後はどのような理由があっても、エントリーの変更は一切認めないので注意すること。)
- (3) 正規の競技者とリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて13名以上、選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (4) 当日はエントリーする19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)

7、指導者資格

- (1) チーム内に1名以上の指導者有資格（コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4）のいずれかの取得者がいること、いない場合は部長以外のスタッフはベンチにはいることはできない。（資格取得者が選手でも可また、資格取得の講習会に参加証明書があれば可）
- (2) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師、および医療免許資格を有する者とする。但し当分の間、科学研究委員会が定めた、日本赤十字社、各消防署、当該地区学連の主催する安全管理及び救急救命・応急手当等の講習会に参加し認定書を交付された者とする。また、トレーナーとしてベンチに入る者は、(一財)全日本大学バレーボール連盟が発行し資格取得証明書を試合中提示していること。

8、競技者選手・スタッフ メンバー提出

- (1) 試合当日の構成メンバー表の提出について
 - ①第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ②第2試合以降は、前の試合の1セット終了までに本部受付へ提出すること。
2試合目以降のチームは、前の試合開始前に提出しないこと。
 - ③構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ④部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a. 特段の理由がある時は、学連担当者に申し出ること。
 - b. スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限り認める。
- (2) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認めない。

9、試合開始時刻

- (1) 第1試合開始は10時とする。第1試合目以降の試合は追い込み方式となるので、試合の進行状況を確認すること。
- (2) 大会期間中、プロトコールは第1試合に限り開始設定時刻より11分前に開始する。
- (3) 第2試合以降は、前の試合の主審が記録用紙にサイン後、10分後にプロトコールを開始する。なお同一チームが審判と試合が連続する場合は主審が記録用紙にサインした後、20分後にプロトコールを開始する。
- (4) 11月30日の試合開始は10時とする。女子準決勝第2試合終了後、コート設営後10分後に男子準決勝第1試合のプロトコールを開始する。
- (5) 12月1日の試合開始は10時とする。男子3位決定戦終了後、コート設営10分後に女子3位決定戦のプロトコールを開始する。女子の試合終了後、コート設営10分後に男子決勝のプロトコールを開始する。
- (6) 大会期間中、プロトコール開始10分前より第1試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
- (7) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。

10、公式練習及び 試合時のベンチ

- (1) 公式練習の時間は全日程第1試合のみ1チーム3分ずつ、第2試合目以降は1チーム5分ずつとする。
- (2) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。クイック・モッパー2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の

統一された服装で参加すること。

- (3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(最大3名)を配置すること。
- (4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(クイック・モッパーを含め、最大3名)を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切してはならない。
- (5) ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗は床に倒して置くこと。
- (6) ベンチには飲料水、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。

11、ユニフォーム

- (1) ソックスについては長さとし、刺繍(ロゴマーク等)のワンポイントまで認める。(但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分配慮し、マスキングを施すこと)。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
- (2) アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
- (3) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (4) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (5) リベロと他の競技者とユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

※ スポンサー規定について

試合中の競技用品(ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ)は、日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止しているため、どの企業の製品か十分注意すること。

公認企業以外のロゴはテープ等で隠すこと。

- ※ ユニフォーム公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アディダス、アンダーアーマー、ヴィクトリー、ミレグラ、アルスト)
- ※ サポーター公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、イグニオ)
- ※ シューズ公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、アディダス、アンダーアーマー)

12、リベロ・プレイヤーの取り扱い

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
- (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時、監督または監督が不在の場合ゲームキャプテンが、いかなる理由であってもリベロ行為が出来ないことを宣言することができる。
宣言されたリベロは、主審の許可を得てベンチ入りしているプレイヤーをリベロとして再指名することかできる。(リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (3) リベロと再指名されたプレイヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレイヤーには戻れない。

- (4) 2人目のリベロが負傷、病気、退場、失格した場合、1名のリベロで試合の継続ができないと宣言された時と同じ取り扱いとする。
 - (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロの再指名をすることができる。
 - (6) 監督がゲームキャプテンをリベロとして再指名したときは、この要求を認めるが、チームキャプテンはリーダーとしてのすべての権利を放棄しなければならない。
 - (7) リベロが退場または失格となった場合は、直ちにセカンド・リベロと入れ替わることができる。もしもチームに1人のリベロしかいない場合は、再指名することができる。
 - (8) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する(ハンド・シグナルは示さない)。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。(再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る。しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
 - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了まで、もとのプレーヤーに戻ることはできない、正規にチームに登録されていたリベロはその試合に終了まで、プレーヤーとしては戻れない。再指名されたリベロも同様の扱いとなる。

13、ワイピング行為について

- (1) クイック・モッパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物で、ベンチの両側に1名ずつ待機し迅速に行う。
- (2) クイック・モッパーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モッパーが必ず行うこと。
- (4) クイック・モッパーが応援及びチームのマネージメント行為(ドリンク、アイシング 作り等)をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。

14、競技全般の不法行為の取扱い

- (1) 2019年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 - (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフ・選手が試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
 - (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
 - (4) 不法な行為については、同一人物が同一試合での繰り返し行為は累進的な制裁を受ける。
 - ① 「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。
- (例)
- ・警告：ステージ1 口頭での警告
 - ・警告：ステージ2 警告 イエローカードでの警告
 - ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える

- ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す（そのセットは終了までペナルティ・エリアに座る）
 - ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）
- ②「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

15、試合前の待機中のチーム

- (1) 試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナの外で待機すること。（ボールをボールカゴから出して手に持って待機することも禁止する。）
- (2) 部旗を持ち大声を出しながらコートを走り回る等の行為を禁止する。

16、チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。（但し、マネージャーは当該大学生のみとする。）
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生で、（公財）日本バレーボール協会（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。
（シャツについては、襟の有無では判断しない。（ランニングシャツ等は不可）
- (5) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。
- (6) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (7) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自陣のコートエンドライン、センターライン及びウォームアップエリアまでの、フリーゾーンの内からの指示を認める。
- (8) 審判員の判定に対するアピールや抗議や監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (8) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は制裁の対象となる。
- (9) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。
※スタッフは役員証、部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは役員証（部・監・C・T・M）を左胸につけること。

17、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は16名（記録委員2名、ラインジャッジ4名、スコアラー2名、点示2名、ボール・リトリバー6名）で行う。
- (2) 第1試合の補助役員については第3試合の両チームが以下のように分担すること。第3試合が無い、もしくは勝ち上がり場合は、第1試合は第2試合の両チームが行う。
①組合せ表上側のチームが6名で行う。（ラインジャッジ4名、スコアラー2名）
②組合せ表下側のチームが8名で行う。（点示2名、ボール・リトリバー6名）
- (3) 試合開始10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員は以下のように行う。
① 人数が不足する場合は、対戦した相手チームに協力を依頼すること。
② チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。

③ 前試合終了直後の担当となるので速やかに記録席に集合すること。

- (5) ラインジャッジは審判員の一人として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレイ中ボールを保持すること。

18、棄権の取扱い

- (1) 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2019年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、2019年度全日本インカレ開催要項・競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。

IV、会場使用上の注意

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は、報道企業、大学広報等のみとする。写真・ビデオの撮影は受付にて撮影許可証を取ること。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。
- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収致す。
チームデータの為のビデオの充電は全会場本部学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙です。喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。
- (5) 貴重品等の盗難に関しまして、当連盟では一切の責任を負いかねます。各チームともに荷物の管理は徹底すること。
また、忘れ物・紛失物に関しましては、各会場受付にてお預かりします(リーグ戦開催中のみ)。恐れ入りますが各会場受付までご連絡下さい。貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (6) 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに留まるように協力すること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても、連盟は一切の責任を負いません。
- (7) 会場に出たごみは各自(各チーム)責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。(特に弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。)

V、その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 各チームの応援は、他観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (3) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (4) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いま

せん。

- (5) 練習会場は用意しません。
- (6) 宿泊・弁当については、各チームで手配してください。
- (7) チームで手配した弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行う事。会場にゴミを放置したまま帰る等の行為は禁止です。
- (8) 本大会に関する問い合わせ先

(一財)全日本大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (月・水・金の18:00~21:00)

F A X : 03-5244-4805

E-mail: info@juvf.jp (上記時間外はこちらにメールを下さい。)

VI、大会申込方法

1、大会申込必要書類

- (1) 今大会は、申し込みを全てメールによるデータの送受信で行います。
申し込み用アドレス：男子 m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
女子 f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
- (2) 件名に「〇〇大学 男子/女子 申し込み」と入力してください。
- (3) 各用紙は(一財)全日本大学バレーボール連盟・全日本インカレのページからダウンロードしてください。
 - ① 受付申し込み用紙 (振込料30,000円の振り込みコピーを添付)
振込料内訳 (参加費20,000円+運営費10,000円)
 - ② 予約プログラム申し込み用紙 (800円×予約部数の振り込みコピーを添付)
 - ③ 参加料と予約プログラムは別々に振込んでください。振込む際、必ず大学名で振込み、大学名の前には男子ならば“M”、女子なら“F”を入力してください。プログラムは前売価格で800円です。プログラムは開会式終了後、会場受付にてお渡しします。
- (4) エントリー用紙 Excel形式
 - ① 注意事項を従いデータを入力してください。
 - ② エントリー18名+スタッフ5名の集合写真 (JPEG)
※それ以上の人数が写っている、不鮮明、ふざけた写真は撮り直しとなります。
ユニフォームの背番号と選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影してください。
選手はリベロも含めて全員同じ色のユニフォームを着用し、スタッフは統一された服装で撮影してください。ポーズは禁止です。
 - ② ウェア・シューズ・サポーター確認書の3点のみを送付してください

- ④ ①、②はPDF形式でメールに添付してください。
- ⑤受付の返信通知は、(一財)全日本学連が受け取ってから2～3日以内にメールにて返信通知を致します。返信通知が遅い場合には、最終ページの連絡先にお問い合わせください。
- ⑥申込に不備があったかの有無については、学連からは連絡いたしません。
- ⑦予約プログラム申し込み用紙、振込料の2点に関しては、出場が決定してから振込を行い、速やかに送付してください。(出場確定前に振り込みをした後、結果的に出場不可となってしまう場合でも、一度振り込まれたお金は返金致しかねます。)
- (5) 各地区学連のリーグ日程の都合上、申込締切期日10月23日(水)17時までに出場可否が確定出来ないチーム(北海道学連、北信越学連、東海学連、中国学連、四国学連、九州学連に所属するチーム)は、該当地区学連の理事長を通して全日本インカレ事務局に連絡をください。

2.参加料・プログラム振込先

三菱UFJ銀行	神田駅前支店 (店番010)
預金種別	普通預金
口座番号	1070339
	一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
	理事長 高野和弘
※一度振り込まれたお金は返金いたしません。	

3、大会及びエントリー 申込期間

10月8日(火)～10月23日(水)17:00 必着

(どのような理由があっても締切期日までに間に合わない場合は参加を一切認めないの
で注意すること。)

- ① エントリーする選手・スタッフの(一財)全日本大学バレーボール連盟追加登録の締切りは10月8日(火)とし期日までに間に合わない場合は追加登録を一切認めないので注意してください。
- ② B方式での開催に伴い、各チームの大会への出場可否は、所属する各地区学連に直接ご確認ください。

4、エントリー 変更申込期間

10月26日(金)～11月18日(月)17:00 必着

(締切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること)

- ① 申込受付後のエントリー選手の変更は一切認めないが、怪我や病気等での変更のみ認められる。その際、医師から診断を受け、怪我や病気等で診断書の提出により、最大2名まで変更できる
- ② 診断書は11月17日(日)までに全日本学連事務所必着(郵送)。

5、抽 選 会

日 時：11月3日(日)

女子：13時～(12時30分受付開始)

男子：14時30分～(14時受付開始)

※開始時刻10分前には着席した状態で待機をお願いします。

※場所に限りがあるため、原則として各チーム1名で出席してください。

※会場：明治大学リバティタワー(予定)

※出席できないチームは、各地区学連委員長宛の委任状を(一財)全日本大学バレーボール連

盟事務局までメールまたは郵送にて送付してください。

締切日：2019年11月2日(土) 必着

- ① 委任状については(一財)全日本大学バレーボール連盟公式HPにフォーマットがあるので、印刷して必要事項を記入の上、(一財)全日本大学バレーボール連盟事務所まで郵送するか、記入済みのものを大会メールアドレス宛にPDF形式で添付してメールで送付してください。

② 【宛先】

(一財)全日本大学バレーボール連盟 全日本インカレ大会事務局

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

E-mail 男子：m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp

女子：f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp

6、入 場 料

11月30日(土)より入場料が発生。(11月26日～11月29日無料)

前売券：一般1,600円・学生800円(11月1日から11月30日までチケット
ぴあにて販売)

当日券：一般2,000円・学生1,000円 ※中学生以下無料。学生は学生証提示。
(前売、当日共に)

※大会出場大学は全日無料で観戦可能。ただし、部で統一された服装で来場する事。